

南三陸 復興まちづくり通信

第58号（平成31年4月発行）



一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。町内外の皆さまに当会の活動の内容をご理解いただくとともに、復興の最新情報をお伝えすることで、共に地域の再建への道を歩んでいただけるよう『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。

未来へ伝え 語りついでゆく

～ホテル観洋で被災地語り部フォーラム～

震災体験などの「語り部」が果たす役割を考え、災害の教訓を後世に伝える取り組みを話し合う「東北被災地語り部フォーラム2019」が2月24日、志津川ホテル観洋を会場に開催され、東日本大震災や阪神淡路大震災の語り部をはじめ、全国各地から約350人が参加しました。パネルディスカッション「みんなが語り部～語ることの意味～」には、復興みなさん会の後藤一磨代表もパネラーとして登壇し、意見を発表しました。



（意見を発表する復興みなさん会の後藤一磨代表）



ギター演奏と軽食で楽しく交流

～志津川西ヶ丘行政区が住民親睦会を開催～

志津川西ヶ丘集会所で2月17日、「ギター演奏会&軽食の集い」が行われ、公営住宅や隣接する防集団地の住民など25人が参加。登米市南方でギター教室を主宰する大場俊郎さんが美しい弦の響きで、来場者を魅了しました。大場さんは解説を交えながら、「影を慕いて」などの古賀メロディーや、「アルハンブラの思い出」「禁じられた遊び」「アランフェス協奏曲」などギターの名曲14曲を演奏。華麗なテクニックを披露しました。

志津川中央公営住宅でひな祭り

志津川中央復興公営住宅の集会所で3月2日、ひな祭りが行われました。入居者のサークル「笑福会」、南三陸椿くらぶ、復興みなさん会が共同で開催したもので、入居者など18人が参加。みんなでひな祭りの定番メニューのちらし寿司と、椿油を使ったけんちん汁を作り、会食しながら交流を深めました。椿油は参加者らが昨年秋に拾った種から絞ったもので、野菜やお漬物は仲松義也ご夫妻の「なかよし農園」からご提供いただきました。



高台移転みねはた団地で支援団体が住民と交流会

大震災の被災者に笑顔を届けようと、レンドリース・ジャパンの若手社員 17 人が 3 月 2 日、伊里前地区の高台移転「みねはた団地」の集会所で入居者と交流会を催しました。同社では震災後の 2013 年から、「南三陸サポートプログラム」で、仮設住宅や災害公営住宅での「お茶会」などの支援を継続しています。この日は、住民と昼食を共にしたほか、一緒にゲームなどをして、楽しい語らいのひと時を過ごしました。



椿油のけんちん汁 いただきます！

～戸倉公営住宅の入居者が食事会で交流～

戸倉復興公営住宅の集会所で 3 月 5 日、復興みなさんが主催する交流会「椿油でけんちん汁を作りましょ！」が開かれ、入居者など 16 人が参加しました。朝のラジオ体操の後、それぞれが調理に参加。大根、人参、ゴボウなどの野菜の入ったけんちん団子を作り、和やかに会食し交流を深めました。けんちん汁には、昨年町内で拾い集めた椿のタネ（12kg！）から絞った 100%南三陸町産の椿油が使用されました。



県臨床心理士会が寄木地区集会所で交流会

宮城県臨床心理士会の主催する「お茶っこ飲みにございん」が 3 月 16 日、寄木地区集会所で開かれました。春の訪れを感じながら、ちょっとおしゃべりを！と企画されたもので、寄木防集団地や近隣で自立再建を果たした住民など 15 人が参加。抹茶やコーヒーをいただきながら親睦を深めました。会のリーダーの袋地知恵（ふくろち ちえ）さんは「寄木地区でのお茶っこは初めてですが、平成の森仮設でお会いした懐かしい方々に会えて、とても嬉しいです」と話しました。



【雑感】

震災の日のニュースによると、県内では災害公営住宅の 98%が完成し、防災集団移転団地への移転も 95%を超えたという。一方で、多くの人が心身の不調を訴え、アンケートでは、気分が優れない、良く眠れない、薬に頼るようになったとの答えがそれぞれ 4 割近いという。

リロケーションプログラムという言葉がある。「移り住みの害」とも呼ばれ、住環境の変化が心身に負担をかけ、健康を害してしまう現象を指す。目になじんだ風景から切り離され、新しい環境や人間関係に馴染めず、孤立を深め、高齢者の場合、認知症の発症を誘発しかねない。これからはハード面の復興だけでなく、心の復興が必要である。被災者が新たな場所での日常を取り戻す、心の回復のプロセスへの支援が大切になる。

一般社団法人 復興みなさん会

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山 26
上山八幡宮 社務所内 minasan.msrbk@gmail.com

当会は今年度、東日本大震災現地 NPO 応援基金〔特定助成〕「東日本大震災復興支援 JTNPO 応援プロジェクト助成金」の支援をいただき活動しています。